

【令和4年度】 放課後等デイサービスNEST 自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善、工夫している点
①	利用定員が児童訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓			<ul style="list-style-type: none"> ・外活動を取り入れたりしている。 ・過度に1人がスペースを占領しないよう配慮しつつ、一人ひとりが快適に過ごせる環境にしている。
②	職員の配置は適切であるか	✓			<ul style="list-style-type: none"> ・個々の障害特性をより理解し、個々にあった対応が必要と思う。 ・児童によっては目が離せないため、人数が必要なときもある
③	事業所の設備について、バリアフリー化などの配慮が適切であるか		✓		<ul style="list-style-type: none"> ・棚などの角にクッションを取り付けるといった配慮は必要と思う。
④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	✓			<ul style="list-style-type: none"> ・業務の中で何かがあったときに、案を出しそれを皆で共有しながら、その案が適切であったかを振り返ることができている。
⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見を把握し、業務改善につなげているか	✓			<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート回収後、全職員で周知し取りまとめています。その後ホームページに掲載している。
⑥	この自己評価の結果を事業所のホームページに等に公開しているか	✓			<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページにて掲載しています。
⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			✓	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は第三者による外部評価を行っていません。
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓			<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容をスタッフで共有できる環境もあり、誰が研修を受けているかのチェック表が設けられている。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善、工夫している点
⑨	アセスメントを適切に行い子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			・専門性のある職員や信頼のある職員がアセスメントを行い、保護者のニーズも確保した上で、職員がどのようにしていけばよいか、また、どのような支援があるかが考えられている。さらに共有もされている。
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓			・アセスメントツールを利用し、一目でわかる表も作成されている。
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓			・様々なスタッフが立案したプログラムが分け隔てなく実施されている。
⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	✓			・毎日のプログラムを担当の職員が指導案作成しています。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか		✓		・日常的にねらい・支援目的を立てて取り組んでいる。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			・子供の状況を適切に判断し、尚且つ、子供の成長が考えられた活動内容になっている。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓			・利用者の特性が一目でわかるようにされており、どう言ったところに注意するのか、どのようなことを伸ばしていくのかを話し合っている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	✓			・特記事項などは活動記録にてその日いなかった職員とも共有しています。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善、工夫している点
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、その支援の検証・改善につなげているか	✓			・記録をとる以外に特記事項については職員間で周知し検証、改善を行っています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要を判断しているか	✓			・計画を立てた上で、この計画が適正であるか、職員全員で共有し、意見を出しやすい環境が作られている。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	✓			・ガイドラインに沿って活動をしており、尚且つ、さらに良い支援がないか考えられている。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議のその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓			・相談に対しても丁寧な対応をしており、尚且つ、子供と接する時間も十分に取れている職員がついているため、適切であると考えている。
㉑	学校との情報共有（年間計画等）、連絡調整（送迎等）を適切に行っているか	✓			・時間の連携を事前にしておくことや、送迎につく前に電話で確認するなど、確認作業がしっかりとされている。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	✓			・連絡体制が整われており、保護者ともどのようなタイミングで服用するのかなども共有されている。
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を努めているか	✓			・保護者さまや相談支援専門員を通じて情報共有しています。
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供等しているか	✓			・相談支援専門員を通じて情報提供しています。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善、工夫している点
②5	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓			・研修内容が共有されており、職員が研修をみれる環境になっている。
②6	わくわくプラザ等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	✓			・野外活動等で一緒になる場合に、挨拶をすることや同じ場所を仲良く使うなどの関わりがある。
②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		✓		・法人として参加し事業所周知しています。
②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓			・送迎時や定期的な面談の時に状況を伝えたり伺って共通理解を取っています。また、記録を取り職員に周知しています。
②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	✓			・どのような支援をしていくかを共有できている。
③0	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明も行っているか	✓			・契約時に利用契約書と重要事項説明書の説明しています。また、支援の内容については面談でのアセスメントをもとに支援計画を作成し支援計画をもとに説明しています。
③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓			・面談などで、相談ができる環境や、相談員の配置などがされており、保護者の気持ちに寄り添える環境になっている。
③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			✓	・コロナ禍で行えていません。オンラインでの開催も検討しましたが行っていません。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善、工夫している点
③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓			・その場での対応はもちろんのこと、すぐに職員に共有され、いつでも共有したことがすぐ見れるようになっている。また未然に防ぐための方法も話し合いされている。
③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓			・日々の活動状況はSNSで発信しています。また、行事等はメールでお知らせをしています。
③⑤	個人情報に十分注意しているか	✓			・個人情報の記載がある書物については鍵付き書庫で管理しています。
③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓			・保護者の思いを理解した上で、その場その場の子供の状況を判断しながら、指を使って判断しやすい状況をつくったり、意思表示カードなどをいる。
③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			✓	・地域の住民を招待するような行事を行っていません。
③⑧	緊急時マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	✓			・事業者内に閲覧ファイルを準備し、いつでも見れるようにしている。また、ホームページに各種指針を掲載しています。
③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練、救出その他必要な訓練を行っているか	✓			・定期的に、避難訓練を行うように計画されており、訓練の際には、わかりやすい言葉で指導している。プログラムの中に避難訓練を入れている
④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓			・虐待を防止するために、ガイドラインや監修の内容が共有されており、職員全員が見ているかチェック表がある。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善、工夫している点
④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	✓			・事前に保護者とのやり取りを行い、説明を行なっている。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	✓			・保護者を經由して、情報共有している。 ・共有もされており、保護者とも連携が取れている。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓			・職員のミーティングや共有スペースで、事例が出ると共有され、対策も練られている。